大正十二年一月八日第三種郵便物認可
常磐毎日新聞

常磐毎日新聞

九月三十日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月前金五十錢（郵税五厘）
廣告 一行一休刊（五號活字）（日曜大祭日ノ翌日）
發行所 福島縣石城郡平町長橋町三五 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
日刊 發行兼編輯人 川崎文治 印刷人 本社ト同番地（電話六三〇番）常磐毎日印刷所

寄書

愛と教育の種々相

高橋濱吉

（三）

可愛いゝ子供で、私は毎日その子供と遊んでをつた。ところが一日たりとも私と一緒に食事をさせない子供は家族と一緒に食事をしない、私は大變淋しいし、たつた一人のあなたの子供だから晩の八時には一緒に食事をさせて呉れと申しましたところ、親達は絶對にいかんと申します。何故いけないかとたゞしますと、大人のやるべきことゝ子供のやるべきことゝは違ふ、我々が食堂で話をすることが或は不用意なこともあり、或は又酒を呑むからそういふ處を子供に見せべきものぢやない、又は子供は子供としての行くべき道があるのであるから、八時になると自分の部室に必ず入れることになつてをると申します。

○

成程氣をつけてをりますと子供は愉快さうに八時まで遊んでをります、八時になると私と一緒に喜んで遊んでをる子供をお母さんが寢室に連れて行つて外から錠をかけ、電氣を消します、子供は中で大きな聲を上げて泣いてをりますが、何分戸は閉められてをる、電氣は消えてをる己むなく遂に自分のベットの中に入つて寢て終ふ、これを見ました時に私はこれが果して子供を愛してをる所以であらうか、少からぬ疑問をそこに有つたのであります。

看護婦派出の求めに應ず
平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

相帽と冬帽
モダーンな若人向スマートな紳士向
東帽製 フワー 七圓八〇
イタリー製ベロアー 七、八〇
ウール 一、五〇
平四（電一四〇）
ツルヤ

梅毒 淋病
淋病 皮膚病 婦人病 腸病 胃病 性病 十二指腸虫病
専門
松村醫院
平南町電話一〇七

和 壹町目 和久井屋 電話〇五番
秋のシーズンです
『御座敷』『御書齋』の御道具取揃ました
本立 机 本箱 本棚 茶箱 大鉢

松茸 鳥肉 新式 御料理
美味……大勉強
初音
平町田町（電話二三六番）

冬の學生服
是非冬服もなかやでコレならと自信を持てお奬め出來る 生地裁縫共に申分ない黒小倉服です
小學生用（長ヅボン付）

1號	七	八歳用	1圓80錢
2號	八	九歳用	2圓00錢
3號	九	十歳用	2圓20錢
4號	十一	十二歳用	2圓40錢
5號	十二	十三歳用	2圓60錢
中學用生			
6號	一年生位		4圓20錢
7號	二年生位		4圓40錢
8號	三年生位		4圓60錢
9號	四年生位		4圓80錢

各學校制定ボタンは15錢 高中學外套も 十月中旬より賣出します
なかや洋服店
平二丁目電二〇三

蒲鉾製造開始
かまぼこ 折詰 仕出し
御惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
藤寅
電一四一

貴金屬 時計 眼鏡 レコード 針先各種
高級蓄音器特約店 ビアス號
金光堂時計店
平町五丁目（電話七三六）
時計蓄音器修理は早く良く

いや……君、見違ひたよ
いゝ洋服を求めたね
いやコレカネ……
例の「ソレ」
正札堂さ
アハハ……
平町停車通り
正札堂

風味絶佳
一の井ノ
松茸フライ
新料理
ハムエベーコン
ハセージエグンパイ

内科 小兒科（院長毎日診療）
院長 醫學博士 難波睦
内科部長 醫學博士 中西林藏
外科 内臓外科 整形外科 皮膚泌尿科專門
外科部長 醫學士 氏家憲介
（毎日曜手術）醫學博士 桂重次
産婦人科 女子泌尿科
産婦人科部長 醫學博士 松枝茂
耳鼻咽喉科專門
部長 醫學士 井上俊次郎
毎日曜手術 醫學士 渡部貞助
本院醫事 法學士 岡蕃
法制嘱託 主事 賀澤忠治
本院
電話七二番

光線新設 物理學的診療法
主任 醫學博士 難波睦
技師 工藤慶造
醫學博士 中西林藏
技師 小熊英夫
藥局長 吉本孝平
一、衛生試驗所（共濟病院内）
一、病氣相談所（共濟病院内）
一、救療所（共濟病院内）
◎救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
◎入院自炊ノ便アリ
◎看護婦見習募集
共濟會 磐城 平町（電話六四一番）

皇后陛下今朝 内親王御誕生

皇后陛下には卅日午前五時廿五分御陣痛の爲め產殿に入御あらせられ同六時十五分內親王御誕生遊さる　（東京特信）

御身長と御体重

今朝御誕生の內親王に於かせられては丸々として御健やかに亘らせられ宮內省の發表する所に依れば御身長五十センチメートル（一尺六寸五分）御重量三千六百五十グラム（九百七十匁）と拜せらる、また御七夜に當る六日には宮中に於て御命名式を擧げらるる旨承はる　（東京特信）

平劇場よ起たれた 田中總裁今や無し

薨去の報傳はるや 平町は擧げて暗愁

政友會總裁田中義一男薨去の報傳はるや、昨日の秋雨そぼ降る平町は擧げて暗愁に閉された、田中男が平町に

足跡を

印したのは總裁就任以前、即ち全國在鄕軍人會長陸軍大將の資格を以つて東北遊說の途次大正十三年十月であつたが今は燒けて無い平劇場の壇上に堂々たる體軀を擁して軍萬馬を叱咤せる豊かな音聲を以つて理路整然と說かるる一節毎に

萬雷の

拍手が鳴り響き他日必らず爲すある一大偉人として聽衆の腦裡に强く印象づけたのであつた今や此人なし、感慨無量と云ふべきである

當時の宿舍

住吉屋本店の六さん 回想して語る

田中男來平の際の宿舍は住吉屋本店であつたが當時その室の受持ち番頭の六さんは往時を回想して左記の如く語つた、

『陸軍大將であると云ふ頭で見たせいか田中さんは何んとなく四角張つた一寸恐ろしい樣な氣のする方でした、而し私共の樣な者に用事を云ひつける際等には別段に分けへだてがなく如何にも平民的で、殊に其時は大層御機嫌がよかつた模樣で、私の磨つた墨で五六枚御揮毫をなすつたんですが見てゐる內に私も欲しくて堪らなくなつたものですから副官の方に恐る々々お願ひをしますと「お疲れだから此の次ぎにしたらどうか」と云はれ其儘引下りました、あの際直接田中さんにお願ひをしたらば……と今になつて考へると夫れが殘念です』

遷宮祭の遙拜式

平町では縣社々頭に集る 午後八時に擧行

神宮式年遷宮祭當日の十月二日には平町に於ける諸官衙學校銀行會社等は勿論休みにて一般各戸でも國旗を掲揚して奉祝の赤誠を披瀝する筈であるが祭典の執行時刻たる午後八時からは縣社子鍬倉神社々頭に參集遙拜式を擧行し軍人分會青年團等も參加する由

築港鐵道請願

石城郡小名濱町長鈴木榮氏外三名は小名濱築港及び平小鐵道促進請願の爲め本日上京した

突然の落磐に 一名即死し 一名は重傷

廿八日午前八時頃磐城炭礦高坂第二斜坑第四號坑內にて突然落磐あり世話人佐藤佐太郎（三三）は即死、佐藤龍司（三〇）は顏面や右肩に重傷を負つたと

鑛山協會が 炭礦病災害 防止の講演

鑛山協會仙台地方常務委員會では既報の如く常磐各炭礦現場係員のため十月の第一、第二、第三日曜日湯本小學校において鑛山における病災害防止に關する講習會を開催するが更に同月八九、十の三日間荒川、尾吉澤、花岡各鑛山において一般從業者のため病災害豫防々止の講演會を開くことになつた講師は仙台鑛山監督局囑託東北帝大教授近藤醫學博士仙台鑛山監督局塚谷技師その他である

青年盟松茸狩

石城郡四倉町磐城青年同盟會には三日午前十時から大野村玉山湯の澤に於て第四回總會を催し終つて松茸狩を行ふ由

新しい日本料理 ごもく飯（上）

拵へ方＝先づ豚肉は纖維と直角になるやうに纖切りになし、之に少量の醬油をふりかけておき、約十分間の後フライパンに胡麻油を少々入れその中でいためますこの時火加減は高溫で短時間にいためる方がよいのです、椎茸はぬるま湯一合に砂糖一摘み入れ其の中に浸し、柔らかくなつた時取出して纖切りとなしフライパンで胡麻油少量の中でいためる後少量の鹽をふりかけておきます。筍は短冊切りにしこれを胡麻油でいため後鹽と醬油とで味をつけておきます。卵は割つてよくかきまぜ鹽、醬油で味をつけフライパンに胡麻油を引いた中に落し入れ手早く攪拌し半熟になつた時御飯を加へてよくかきまぜます

十二月一日に 開業の運び

磐銀の重役會

休業中の磐城銀行は昨日午前十時から重役會を開いたが來る十七日株主總會を開き六十五六七の三期間に於ける業務經過の承認を求める由であるが、十一月卅日迄休業を延期し十二月一日から開業の運びに至る豫定であると

記念塔の寄附

平町第一、第二小學校では日本海々戰記念塔建設資金を兒童から募集中であつたが第一校は十七圓、第二校は二十圓八十五錢寄附が擧がつたので此の程建設會本部に寄附した

互に側面衝突

野崎自動車運轉手小林宗高（二五）が廿八日平驛前附近で自轉車に乘つた新妻茂武（二〇）を跳ね飛ばし腦震盪を起さしめたは既記の如くであるが取調べの結果最初兩車が出會し避けんとして互ひに一方に外るる際側面衝突を爲せるものにて自動車の追突ではない由

產米改良上に 困つた一現象

貨物自動車の發達に依り 移出米の檢査減少

農產物檢査所平支所の本年四月一日から九月廿四日までの白米移出

檢査俵數

は六千五百七十二俵にてこれを昨年の同期間九千九百四十九俵に比すれば三千三百七十九俵を減じてゐるこれは重に昨年來の米價が一般に下落し石城郡內の米が

移出され

なかつたゝめと觀られてゐる右に付安島所長は語る『移出檢査米が極度に減少したことは昨年來より米價が下落した結果石城茨城の各炭礦に湯本から供給してゐた粳米の殆んど全部が

一般米價

と平衡を得たゝめに利益が取れない關係上移出が停止の狀態を續け一面同地方が貨物自動車の交通發達しその影響は汽車積移送を極度に減少した、これによつて郡內の自給關係は平年と變らないが同郡の產米改良上に考慮を要する點が多々あるものがある』

異動土地で 新財源を得

平稅務署調査

平稅務署では來る一日から管內石城郡中通り平町を中心に南は阿部課長北は金山屬由間部地方高橋屬濱通り地方關根屬の四組に分れ郡內各町村に亘り田畑宅地山林原野を無屆で異動してゐる土地一萬五千筆に對し大馬力をかけ土地の檢査を行ひ新地價等を評定する事となつたが檢査の結果は郡內の變更により新地價を以て地租を賦課し得るやうになるからこれにより年々數千圓の新財源を得ることになるであらうと

常磐各炭礦 送炭の調節

五分減を實行

常磐各炭礦では本年の特越し及び平年度の不況を見越して本年六月末日までに至る實送高の五分減を實行する方針を樹て協議中だが結局制限高擴張を見ることにならし

湯本の選擧

愈よ明日に

既報石城郡湯本町區會議員選擧は愈々明日に迫つたが十二名の定員に對し炭礦側五名、町民側九名の立候補あり炭礦側は二千二百七十六票の總投票中千百七十票の獲票ある由にて五名の當選確實と見られて居るが是れに對する町民側の形勢は混沌として逆睹し難い由

明日の報豫

天氣

西寄りの風曇り次第に晴る